



入試問題研究

医学部への合格 *on the road*

大学入試センター試験・英語

2020年度大学入試センター試験より抜粋

1. (文法・語法、応答文完成問題) 第2問より

問題

第2問 A問7【文法問題】

次の英文の [] に入れるのに最も適当なものを、①～④のうちから一つ選べ。

When Ayano came to my house, [] happened that nobody was at home.

- ① it
- ② something
- ③ there
- ④ what

第2問 C問2【応答文完成問題】

次の会話が最も適当なやりとりとなるように [] を埋めるには、(A) と (B) をどのように組み合わせればよいか、それぞれ一つずつ選べ。

Yu: I heard Emma is planning to quit her full-time job.

Lee: Yeah, she's going to start her own company.

Yu: Wow! Her husband must be angry because they need money for their new house.

Lee: Very much so. But [] to Emma's plan. They always support each other in the end.

(A) although	→	(A) he is quite upset,	→	(A) he doesn't object
(B) because		(B) he isn't so upset,		(B) he objects

解答 第2問 A問7 ① 第2問 C問2 (A) → (A) → (A)

解説

第2問 A問7 「アヤノが私の家に来た時、たまたま誰も家にいなかった」

It happens that S V ~. 「偶然(たまたま)~する」という、形式主語のitをつかったhappenの定形表現。

第2問 C問2 Emmaが仕事を辞めることについて、彼女の知り合いと思われる二人の会話。

Leeの最後の発話の第2文が問題となっており、Butの後 although の副詞節、次に object を使った主節を、会話の内容から正しく並べる。

But although he is quite upset, he doesn't object to Emma's plan. 「でも、彼(エマの夫)はとても動揺するだろうが、エマの計画に反対はしないよ」とすることで、後続の They always support each other in the end. 「二人はいつも最終的にはお互いに支え合っている」という内容に正しくつながる。

2. (文脈把握問題) 第3問より

問題

第3問 A問2【取り除いた方がよい文を選ぶ問題】

次のパラグラフ(段落)には、まとまりをよくするために取り除いた方がよい文が一つある。取り除く文として最も適当なものを、下線部①～④のうちから一つ選べ。

You might have been told, "Sit up straight or you'll get a backache." But is it true? People have long assumed that posture has played some role in back pain. Surprisingly, the evidence from research linking posture and backache may be weak. ①Our back is naturally curved — from the side it is S-shaped. ②Individuals have their own unique bone sizes that determine their body shapes. ③It has been thought that good posture meant straightening out some of the curves. ④According to a study examining doctors' opinions, it was found that there was no single agreed-upon standard of proper posture. One researcher even says that often changing your posture, especially when sitting, is more important for preventing back pain. The main source of back pain may be stress and lack of sleep, not the way someone is sitting.

解答 ②

解説

正しい姿勢が腰痛(背中痛み)を防ぐことになるのかを問う文章。①の文で背中がS字の形状をしていることを述べ、③の文で良い姿勢とは、そのカーブをまっすぐにすることであると考えられてきたことが述べられているが、その間に入り込んだ②の文で言及される、「個人は体の形状を決定する独自の骨の大きさを備えている」という内容は、文脈から考えて本文に必要ないものである。

3. (長文問題) 第6問・問題文の段落(2)より

次の文章を読み、下の問いに答えよ。

(2) While vending machines are found throughout the country today, they were not originally developed in Japan. It is generally believed that the first one was constructed by a Greek mathematics teacher about 2,200 years ago. This machine sold special water used in prayers at temples. People who wanted to purchase the water put in a coin, which hit a metal lever attached to a string. Then, the weight of the coin let a specific amount of water pour out until the coin fell off. This ensured that people received an equal portion of the special water.

問1 According to paragraph (2), what was the first vending machine capable of doing?

- ① Allowing people to acquire a fixed amount of liquid from it
- ② Offering books of ancient Greek mathematical principles
- ③ Permitting visitors to enter temples when they wanted to pray
- ④ Providing a regular income to the person who created it

解答 ①

解説

自動販売機の起源に言及した段落で、約2,200年前にギリシャの数学の教師によって作られたその装置の能力を問う内容一致問題。第3文に出てくる waterをliquid、また第5文の a specific amount of water を a fixed amount of liquid と言い換えた①が正解である。

講評

2021年1月より導入される「大学入学共通テスト」(以降、共通テスト)において、英語は民間外部検定試験の導入が見送られる運びとなった。今年で最後となるセンター試験に、共通テストがどの程度影響するのか注目していたが、昨年同様、従来通りのオーソドックスな問題が大半を占めた。

まず、出題数は54問で変わらず、出題形式、難易度についても昨年度の流れを踏襲し大きな変化はない。第4問Aの間4では、最終段落に続く次のトピックを選択する問題が、今年は復活した。また、第5問の長文は、飼い犬を探しに行った山で出会った老人との不思議なやり取りを扱った文章で、一昨年度のSF的な内容に、現実からの乖離という面では近いものを感じられる。また、第3問と第6問は、主に論理的読解が求められる設問なので、これらを全問正解できる実力がつけば、第4問の図表を含む形式の長文問題でも大きく失点する可能性は低いであろう。

共通テストで医学部を目指す受験生は、これまでのセンター試験にならって言えば、他学部比べてかなり高い正答率が必要であろう。一方、大学入試センターは、「英語外部検定試験」が延期されても、2021年1月の共通テストには「発音、アクセント、語句整序等を単独で問う問題は出題しない」としている。従来の第1問、第2問で問われた発音、アクセント、文法問題に代わり、どんな出題がされるのか、試行調査(プレテスト)を参考にして今後の模擬試験を受験し、全体の形式や時間配分に慣れておこう。結局、2021年の共通テストでは、「読む(リーディング)」と「聞く(リスニング)」の2技能がテストされる。配点はセンター試験とは異なり、いずれも100点の扱いになるが、最終的な配点は各大学の判断に任せるとのことだ。今後の大学入試センターからの発表が待たれる。

いずれにしても、地道な積み上げの基礎学習が必要であることは、どんなテスト形式や出題傾向でも変わらない。やはり、平日頃から英文法・語法、読解力や語彙力をつける努力はもちろん、出題の割合が大きい論理的読解力の習得を核に、どのような問題にも対処できる柔軟な「思考力や判断力、そして表現力」をつけることを意識して演習に取り組む必要がある。

(メディカルラボ 英語科講師 井上貴文)